# 「うちどく」通信（つうしん）～2024.7～〔筑南小学校　毎月７日はうちどくの日〕

【7／11 提出分】

提出数（欠席）／人数

1年 11（1）／17☆GOOD☆

2年 14／14 ☆GOOD☆

3年 15（1）／18

提出数（欠席）／人数

4年 12/12 ☆GOOD☆

5年 18/19

6年 23（1）/24☆GOOD☆

全校 93（3）/104

**1年 O・S 『みえるとかみえないとか』 Eよ** ヨシタケシンスケ/さく アリス館

読んだ人：S 聞いた人：お母さん・お兄ちゃん・お姉ちゃん

S：うちゅうのひとに三つ目があってびっくりしました。またよみたいです。
お母さん：「みえないからこそできること」もよーく考えたらたくさんある。見える人と見えない人とでは、世界の感じ方が全然違う・・・っていうことは・・？わたしたちも、いろんなみかた（視点）をもってこれからも過ごしたいです。

**1年 M・I 『はなさかじい』 Eよ** よしざわかずお/ぶん ポプラ社 読んだ人：I・お母さん 聞いた人：I・お母さん

I：ぼくはやさしいおじいさんとおばあさんがすきです。
お母さん：やさしいおじいさんとおばあさんのように相手を思いやる優しい子になってほしいです。友だちにも優しくして仲良くしてもらいたいです。

**2年 S・T 『ミッケ』 79ウ** ウォルタ・ウィック 小学館 読んだ人：T・お母さん 聞いた人：おとうと

T：みんなでミッケをしたら、すいすいおわってたのしかったです。
お母さん：おとうとが「〇〇って何？」と尋ねると「これだよ」と教える姿がほほえましかったです。

**2年 M・H 『ぼうはんクイズえほん』** 八女市立図書館貸出文庫 読んだ人：お母さん 聞いた人：H・お母さん

H：はじめてのことをたくさんべんきょうできてよかったです。
お母さん：知らない人から話しかけられたらどうするかなどをクイズで学ぶことができました。どうして危険なのかを子どもにわかりやすく書かれていたのがよかったです。身近なところにどんな危険があるのかを話すことができ、防犯意識が高まりました。

**3年 H・M 『ぼくのジィちゃん』 Eく** くすのきしげのり/作 佼成出版社 読んだ人：M 聞いた人：お母さん

M：リレーがはじまる時、ヒロシくんのお父さんが仕事でいけなくて、代わりにおじいちゃんが出てくれました。おじいちゃんは、はっと君のお父さんをぬいで１着になったのがすごいなあと思いました。
お母さん：頼もしいジィちゃんで、読んでいて面白い本でした。最後まであきらめないことが大事ですね。

**3年 M・A 『おうち』 八女市立図書館貸出文庫 読んだ人：A 聞いた人：お姉さん**

A：おうちに帰らないとごはんが食べられない、おふろにも入れない、おふとんでねむれない。家にかえりたくなくても、おうちがあるからかえろうというきもちになっていいなと思いました。
お姉さん：この本はおうちに帰ってくる理由はなんだろうと深く考えさせてくれるお話でした。女の子が毎日家に帰るのか、いろんなことを考えさせられる本でした。

**4年 I・M 『あのくもなあに？』 Eト** 冨安陽子/文 福音館書店 読んだ人：M 聞いた人：お母さん

M：「あのくもなあにを」読んで空を見ていました。くもが、だんだんとわたあめ屋さんがわたあめを作っているように見えておもしろかったです。この本にはいろんなことを空でやっていてすてきだなと思いました。
お母さん：上手に読んでくれました。読んだ後外に出て雲の観察をしました。私は恐竜の雲をみつけ、風が強く雲の流れも早く、まるで恐竜が歩いているようでした。

**4年 K・H 『虫ガール』 Eス** ソフィア・スペンサー/文 岩崎書店 読んだ人：H 聞いた人：お母さん

H：ソフィちゃんがさいしゅうてきにいろんなしゅみができて、学校に行くのも楽になってよかったと思いました。
お母さん：虫が大好きな女の子の実話。小学生になると、気持ち悪いとか言われ変な目で見られてしまい虫がすきをお休みすることに。その様子をみたママが昆虫学者にメールを送りそこから大きな輪が広がっていきます。好きな事は好きと言える子どもになってほしい。それに寄り添える母親になりたいと思いました。

**5年 K・A 『津田梅子』 28ツ** 津田塾大学津田梅子資料室 小学館 読んだ人：A 聞いた人：お母さん

A：この人は小さいころに留学して女学校を作り上げたすごい人でした。
お母さん：6 歳で留学し、その後日本女性のために学校を作り、女性の地位向上に一生を捧げた人の話でした。7月より5千円札になった人がどんな事をした人なのかを漫画で書いてあり、わかりやすく読めました。今、男女共に勉強できて努力すれば自分の希望する仕事ができるのは昔、こんなに頑張ってくれた人がいてくれたからだと知り、私もがんばらなきゃと思いました。

**5年 M・M 『宮沢賢治』 28ミ** 西本鶏介/文 ポプラ社 読んだ人：M 聞いた人：お母さん

M：宮沢賢治さんは努力をして農業やいろいろな事をやったすごい人だなあと思いました。
お母さん：宮沢賢治さんの作品は始めから受け入れられていたのではないことを知りました。本人の意思の強さや周りの人や地域への優しい思いが亡くなった後に伝わり広がっていることを知ることができました。人の思いが人を動かすのだなと思いました。

**6年 I・R 『キツネとぶどう』 Eイ** イソップ/原作 岩崎書店 読んだ人：R 聞いた人：お母さん

R：あんなにがんばっていたのにどうしてあきらめてしまったのだろうと思いました。
お母さん：欲しいぶどうを採ることができず何度もチャレンジしていたキツネ。最後は採ることができずあきらめてしまったお話でしたが、「他の人に相談したり採る方法、手段を考えたりなぜしなかったのだろうね？」と僚と話すきっかけが本を通してできました。

**6年 K・K 『交通安全大王』** 八女市立図書館貸出文庫 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：どれだけ道路があぶないのかこの本を読んでわかりました。自分で交通安全について考えそれで良いのか考え見直したいです。
お母さん：いつも何気なく歩いている通学路も地域の方々や先生方に見守られ、助けられているからこそ安全に過ごすことができているということを理解しているといいです。